

# 『公共施設の今後のあり方に関するアンケート』

日頃より、本市の暮らしやすく魅力あるまちを目指した行政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今回お願いするアンケートは、皆さまに日頃利用いただいている公共施設に関するものです。これらの施設の多くは、昭和30年代後半からのわが国の高度経済成長に併せて建設されており、近い将来に建て替えや大規模な修繕が一斉に必要となることが予測されています。加えて、建設当時から社会経済状況が大きく変化したことにより、その役割や機能を再検討する必要も出てきました。

一方で、急速な少子高齢化が進む日本では、国や地方自治体の収入は、大幅な増収が望めず、支出では社会保障費の占める割合が年々増加していく傾向にあります。

そのため、現在あるすべての公共施設を健全な状態で維持していくことは、極めて困難な状況にあります。犬山市でも平成24年度に公共施設（建物）の劣化状況の調査を行った結果、本市が所有する117施設すべてをこれまでどおり、利用していくためには、今後65年間で建て替えや改修などに約600億円（1年あたり：約9億2千万円）という大きな予算が必要になることが分かりました。

本市では、こうした現状に対応していくため、公共施設等総合管理計画を策定し、最適なコスト管理と施設の有効活用を図り、次世代への財政負担を軽減するため、各施設の今後のあり方の検討を進めています。

検討に際しまして、市民の皆さまの意向を知ることは、市の方針を決定していく上では非常に重要であると考えていますので、是非アンケートにお答えいただきますようお願い申し上げます。

平成29年6月

犬山市長 山田 拓郎

## ■ ご記入にあたっての注意事項 ■

- ・質問は、問7まであります。すべての質問にご回答ください。
- ・回答は、該当する番号を「○」で囲んでください。
- ・記入していただいたアンケートは、平成29年7月24日（月）までに同封の返信用封筒に入れ、封をして郵送により返送してください。

お問い合わせ先 〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑 36 番地  
犬山市役所 経営部 経営改善課 契約検査・資産グループ  
電話：0568-44-0301 メール：[011000@city.inuyama.lg.jp](mailto:011000@city.inuyama.lg.jp)

※ このアンケートは、市民の皆さまから無作為に抽出し、回答をお願いするものです。お寄せいただいたアンケートは、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけることは決してありません。

**問1** あなたの性別、年齢、職業、お住まいの地区について教えてください。次の選択肢の中で、当てはまるものに○をつけてください。年齢は数字を記入してください。

- 【性別】 1. 男性                      2. 女性
- 【年齢】 (            ) 歳
- 【職業】 1. 会社員（公務員含む）                      2. 自営業  
3. 家事専業    4. 学生  
5. 無職    6. その他
- 【地区】 1. 犬山地区    2. 城東地区  
3. 羽黒地区    4. 楽田地区  
5. 池野地区

**問2** 公共施設（建物）についてお聞きします。

先にお示ししましたとおり、厳しい財政状況の中で、公共施設（建物）を健全な状態で維持していくためには、優先度を決めて改修や建て替えなどの予算を配分する必要があると考えています。

そこで、今後、本市が改修や建て替えなどに限られた予算を配分する場合の参考とするためにお聞きします。

あなたは、どの公共施設（建物）の優先度が高く重要であると思いますか。次の選択肢の中で、上位5つに○をつけてください。

1. 市役所、出張所などの行政施設
2. 子ども未来園、児童センターなどの子育て支援・児童福祉施設
3. 老人福祉センター、老人憩の家などの福祉・高齢者施設
4. 市民健康館（さら・さくら）、保健センターなどの保健・健康施設
5. 大手門まちづくり拠点施設（しみんてい）などの市民活動拠点施設
6. 観光案内所、公衆トイレなどの観光関連施設
7. 消防署、消防分団車庫などの防災施設
8. 小学校、中学校などの学習教育施設
9. 市民文化会館、図書館、公民館、学習等供用施設などの文化・生涯学習施設
10. 体育館、武道館などのスポーツ施設
11. 文化史料館、旧磯部邸などの歴史まちづくり施設

.....

ここからの質問は、主に市に一つしかない公共施設（建物）を対象にお聞きします。これらの施設は、市としても市民の皆さまの充実した暮らしを支援するために、今後も維持していくべき重要な施設であると考えています。

しかし、どの施設も個別の課題を抱えており、今後のあり方について対策を検討しているところです。そこで、市民の皆さまの意向をお聞きしたいと思います。

**問3 福祉会館についてお聞きします。**

福祉会館は、建設後46年が経過し、外壁や電気・空調設備などが著しく老朽化しています。また、城下町地区に位置することから、建物自体が景観を悪くしていることも問題視されており、今後のあり方について早期に決定し、実行に移す必要があります。

そこで、本市では、一部機能（各種団体の事務所や相談窓口機能など）を他の公共施設へ移転し、この地域の集会機能などは残すこととし、景観向上のためにも2階建て程度の施設としていく検討をしています。

手法としましては、「現施設の上部（3～5階）を撤去し、景観に配慮した形で改修する方法」と「現施設を解体撤去し、新たに2階建て程度の施設を新築する方法」があります。

他市の事例などを参考に建設費を試算し、比較してみると「現施設を解体撤去し、新たに2階建て程度の施設を新築する方法」の方が低コスト（概ね6割程度）で、かつ十分に建物寿命も確保できることから、選択すべき手法であると考えています。

あなたはこのような本市の考え方についてどう思いますか。

次の選択肢の中で、当てはまるものに○をつけてください。

1. 市の考えに賛成するまたは、理解できる
2. 市の考えに賛成できない、理解できない
3. どちらともいえない

**問4 国際観光センター（フロイデ）についてお聞きします。**

国際観光センター（フロイデ）は、犬山の豊かな観光資源と国際交流とを関係付ける拠点施設として平成7年に建設されました。

当初は「国際観光の振興」「国際交流の促進」という目的で設置されましたが、現在ではこの目的での利用だけではなく、新たな需要が増加してきています。

そこで、本市ではさらなる施設の有効活用を図るために当初の設置目的を見直し、「健康、福祉、教育、文化など様々な分野にわたる市民の地域づくり活動を支援する機能を持った施設」として生まれ変わらせたいと考えており、検討を進めています。

あなたはフロイデの今後に対する市の考え方について、どう思いますか。

次の選択肢の中で、当てはまるものに○をつけてください。

1. 市の考えに賛成するまたは、理解できる
2. 市の考えに賛成できない、理解できない
3. どちらともいえない

**問5 市民文化会館についてお聞きします。**

市民文化会館は、市民の皆さまに、優れた芸術文化を身近に触れてもらうための施設として建設されました。建設後34年が経過し、建物や設備の各所で老朽化が見られ、限られた予算の中で改修を行いながら運営しています。

本市としましては、市民文化会館は、市民の皆さまの期待に応えるため、今後も建物の改修や運営の見直しを行いながら、継続させる施設と考えております。そこでお聞きします。

あなたが市民文化会館に期待するものは何ですか。

次の選択肢の中で、上位3つに○をつけてください。

1. 芸術・文化事業の質
2. 芸術・文化事業の数
3. 芸術・文化事業の情報発信
4. 市民の発表の場の提供
5. 市民の集会の場の提供
6. 親子向けイベントの充実
7. 高齢者向けイベントの充実
8. 文化を通じた交流機能の充実

.....

ここからの質問は、公共施設（インフラ）についてお聞きします。上下水道、公園、道路、橋梁などのインフラ施設は、市民の皆さまの暮らしに密着しており、なくてはならないものです。今回は、それらの優先度について、市民の皆さまの意向をお聞きしたいと思います。

**【インフラ施設その1】**

**問6 インフラ施設についてお聞きします。**

公共施設は、建物だけではなく、上下水道、公園、道路、橋梁などのインフラ施設もあります。これら施設も建物と同様に老朽化が進んでいますが、厳しい財政状況の中では優先度を考え、予算を配分していかなければなりません。

インフラ施設も建物も、市民の皆さまの生活になくてはならないものであると考えていますが、改修などに限られた予算を配分する場合、

あなたは建物とインフラ施設ではどちらの優先度が高いと思いますか。

次の選択肢の中で、当てはまるものに○をつけてください。

1. 建物の方が優先度が高い
2. インフラ施設の方が優先度が高い
3. どちらともいえない

## 【インフラ施設その2】

問7 インフラ施設についてお聞きします。

厳しい財政状況の中で、本市が管理しているインフラ施設を維持していくためには、優先度を決めて改修などの予算を配分する必要があると考えています。また、インフラ施設は、本市の責任において管理しているもの以外にも電気、ガス、通信、交通機関など様々なものがあります。

そこで、今後、本市が改修などに限られた予算を配分する場合の参考とするためにお聞きします。

あなたは、どのインフラ施設の優先度が高く重要であると思いますか。

次の選択肢の中で、上位5つに○をつけてください。

- |        |                  |                |          |
|--------|------------------|----------------|----------|
| 1. 上水道 | 2. 下水道           | 3. 公園          | 4. 道路    |
| 5. 橋梁  | 6. 治水（ため池、調整池など） | 7. 利水（河川、水路など） |          |
| 8. 電気  | 9. ガス            | 10. 通信         | 11. 交通機関 |

※ その他、「公共施設の今後のあり方」に関して、ご意見がありましたら、下記にご記入ください。

■ 記入欄 ■

以上でアンケート終了です。お忙しいところ、最後までご回答いただきありがとうございました。皆さまの貴重なご意見を、これからの「公共施設の今後のあり方」の検討に活かしていきたいと考えています。今後とも本市の行財政運営にご理解とご協力をお願いいたします。

